

令和4年度 教科の重点目標・実践事項

【地歴・公民科】

1. 重点目標

- (1)我が国および世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について理解と認識を深める。
(2)広い視野に立って、現代社会について理解を求めるとともに、人間としての在り方、生き方についての自覚を育てる。

2. 各科目の目標

(1)1年次

ア 地理総合

- ・地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化や地球課題への取り組みを理解するとともに、地理に関する情報を調べまとめる力、課題解決に向けて構想する力、説明したり議論する力、課題を追求する態度を養う。

イ 歴史総合

- ・世界とそこの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。

(2)2年次

ア 日本史B

- ・基本的な事項・用語の正確な理解につとめるとともに、前近代では朝鮮半島・中国をはじめとする東アジアの動向を、近現代史ではアジアをはじめとする世界の動向を関連させながら日本の歴史についての全体像を深めさせる。

イ 地理B

- ・現代世界の特色を学び理解し、地理的な見方や考え方が身につけさせる。
- ・現代世界の新しい動きを捉え、課題解決的な学習方法を習得させる。
- ・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

ウ 日本史A

- ・近現代の歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代諸課題に着目して考察させる。
- ・歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

エ 地理A

- ・現代世界の特色を学習し、地理的技能(地理的な見方・考え方)を習得させる。
- ・現代世界の諸課題を地域性を踏まえてとらえ、課題解決的な学習方法を習得させる。
- ・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

オ 政治経済

- ・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせる。
- ・現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させる。
- ・諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

(3)3年次

ア 倫理

- ・自己の生きる課題とのかかわりにおいて、青年期の意義と課題を理解させるとともに先哲の基本的な考え方を手がかりに、人間の存在や価値について思索を深めさせる。
- ・現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての生き方について自覚を深めさせる。

イ 政治経済(2年次と同様)

ウ 応用日本史

- ・近現代以降の日本の歴史について、アジアをはじめとする世界の動向を関連させながら全体像を深めさせる。
- ・日本史全体の流れを捉え、様々な角度から考察できる資質を身につけさせる。

エ 応用地理

- ・現代世界の新しい動きを捉え、日本人としての自覚と資質を養う。

オ 応用政治経済

- ・基本的人権をはじめとする民主主義の本質について理解を深めさせる。
- ・現代の政治・経済・国際関係について理解を深め、問題について考察する力を養う。

カ 応用現代社会

- ・現代社会の諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な態度を育成する。